

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



特集 1 持続可能な米沢市を目指してー

拝啓、2030年の私たちへ

一人一人の行動が、まちの姿をかたちづくる。米沢市の未来のために、
私たちができるSDGs（エス・ディー・ジーズ）を考えてみませんか？

■問合せ／政策企画課企画調整担当

持続可能なまち、米沢へ

皆さんは、SDGsという言葉
葉をご存じですか？SDGs
(Sustainable Development
Goals：持続可能な開発目標)
とは、2015年の国連で採
択された、誰一人取り残さな
い、持続可能な社会の実現に
向けて定められた、世界共通
の目標です。SDGsは、「貧
困をなくそう」など、全部で
17の目標から構成されてお
り、2030年までに全ての
目標を達成することを目指し
ています。
人口減少や高齢化などの課
題を抱える米沢市。「これか
らも住み続けたい」、「また訪
れてみたい」と思われる魅力
的なまちを目指し、本市で
も、SDGsの視点を取り入
れたまちづくりを考えていき
ます。
本特集では、米沢市の未来
へ向けてSDGsを実践する
市内の団体、身近なSDGs
の取り組みなどを紹介しま
す。持続可能な米沢市のため
に、私たちができるSDGs
を考えてみませんか？

政策企画課企画調整担当
佐藤 航

SDGs とは？

貧困や不平等、気候変動などの課題を解決するために、国連で定められた開発目標 (SDGs) です。SDGsは、17項目の大きな目標と、その目標の達成に向けた課題や手段を示した169のターゲットで構成されています。

SDGsは、先進国も含めた、全ての国が取り組むべき普遍的 (ユニバーサル) な目標となっています。SDGsの達成に向けて、各国政府だけでなく、私たち一人一人の行動が求められている点が大きな特徴です。



「SDGsを意識すること
で、去年よりもペットボトルの
キャップがたくさん集まりま
した」と話すのは、生徒会長の
佐藤龍さん。六中では、生徒
一人一人が日頃から地域や世界
とのつながりを意識できるよ
う、SDGsのステッカーをト
イレヤリサイクルボックスなど
に掲示しています。

生徒会でSDGsを推進

美しい田園に囲まれた市立
第六中学校。自然豊かな地域
を未来へ残していこうと、S
DGsの視点を取り入れた生
徒会活動を行っています。



全校生徒で作った新聞エコバッグを地
区の商店やコミセンに配布します。(8
月10日(火)、六郷コミセン)



二酸化炭素(CO₂)の
削減や世界の医療支
援に貢献できるよう
「ペットボトルキャ
ップ」、「使用済み切手」、
「コンタクトレンズ
ケース」の回収活動
を行っています。



特に力を入れているのは、環境
保全活動。「ペットボトルキャ
ップ回収」や「新聞エコバッグ作り」、
全校生徒で地区のごみ拾いをす
る「六中クリーン大作戦」などを行
い、地域や世界に目を向けた取り
組みを実践しています。

自然豊かなまちを未来へ

六中クリーン大作戦では、「住み
続けられるまちづくりを」(SDGs
目標 11) スローガンに、六中学区
のごみ拾いを行いました。用意し
たごみ袋が足りなくなるほどごみ
が落ちていた地区もあり、とて
もショックでした。街並みがさ
れいで、空気がおいしい米沢。
生徒会活動を通し
て、自然豊かなまち
を未来につなげてい
きたいです。

第六中学校 3年
生徒会長 佐藤龍さん



活動の足跡として、「み
んなで育てよう! SDGs
の木」を学校に掲示して
います。生徒会活動の他、
今後は、生徒一人一人
の取り組みも掲示する
予定です。



4月23日(金)の六中クリーン大作戦。地域の現状
をまとめ、生徒会だよりを通して発信しました。

地域の資源を有効活用

地域の経済資源として有効
利用されていた米沢の広葉
樹。これらの木々は時代とと
もに放置され、森林の荒廃が
危惧されています。

米沢地方森林組合では、こ
のような広葉樹を有効活用し
ようと、きのこの原木生産と
炭焼きを行っています。「需
要が増加し事業として期待で
きるきのこの原木。しかし、
切り出すときに捨てられる部
分が多く出るなどの問題もあ
ります」。その点、炭焼きは
どんなサイズの木でも炭にし
ることができるため、残材を
余すことなく利用できると、
同組合事業課長の四柳徹也さ
んは話します。



8月12日(木)、大字李山の
炭焼き小屋を訪問しました。
ここにある2つの炭窯は、
以前使われていた廃窯を再
利用したもの。南陽市にあ
る既存の2窯も合わせた4
つの窯で、米沢産ナラ
材を使用した高品質
の木炭「やまが炭」な
どを生産しています。

米沢地方森林組合
事業課長
よつやなぎ 四柳 徹也さん



活用されなくなった森
林の再生に取り組み米沢
地方森林組合。四柳さん
は、「炭焼きという技術を
どのように継承してい
くのかも今後の課題。豊か
な森林を未来へつなげて
いけるよう、持続的な森
林整備をコツコツと続け
ていきたい」と語ります。

地域に根付いたやり方に

新しい炭窯は、県外の技術指導
を受けて完成しました。より良い
方法を追及していくうちに、いつ
の間にか綱木地区で行われ
ていたかつての炭焼きに
近い形に――。先人たちが
残してきた技術を、次の世
代へもつなげて
いけるよう頑
張ってい
きたいです。

米沢地方森林組合
技能作業班長兼窯長
なかしょう まさひろ
中條 雅浩さん



実践！身近なことから **SDGs**

SDGsの達成に向けて、私たちができることは何でしょうか？
ここでは、日常生活で簡単に取り組むことができる行動を紹介
します。(国連広報センター「アクション・ガイド」等参照)

レベル

1

ソファに寝たままできること

- ・電気を節約。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていないときは完全に電気を切りましょう。
- ・必要のない時には、照明を消しましょう。
- ・女性の権利や気候変動についてSNSで面白い投稿を見つけたら、シェアをしましょう。

レベル

2

家にいてもできること

- ・生鮮食品や残り物、食べ切れない時は早めに冷凍。食べ物の無駄をなくしましょう。
- ・紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルしましょう。埋め立て地を増やす必要がなくなります。
- ・お互いを尊重し、家事の役割分担をしましょう。

レベル

3

家の外でできること

- ・マイバッグを持参し、買い物は地元で行いましょう。地元企業の支援は、雇用を守ることにもつながります。
- ・訳ありの野菜や果物を選びましょう。形は悪くても味や品質は一緒です。
- ・環境に配慮し、詰め替え可能なボトルなどを使いましょう。

レベル

4

職場や学校でできること

- ・自転車や徒歩で通勤、通学しましょう。エコにつながるだけでなく、運動にもなります。
- ・職場や学校で差別があったら、どんなものであれ声を上げましょう。性別や人種、性的指向、社会的背景、身体的能力に関係なく、人はみんな平等です。

～持続可能な米沢市を目指して～

地域循環共生圏づくり



4月5日(月)、環境省が選ぶ、「地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体」に本市が選定されました。森林、歴史などに恵まれた本市の資源から創出される価値を、経済性の伴う事業として循環させることで、共生、自立型の広域的な社会を目指します。

画像は環境省ホームページより

SDGs 未来都市

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

5月21日(金)、「SDGs 未来都市」に本市が選定されました。「SDGs 未来都市」とは、内閣府が選ぶ、SDGsの理念に沿った取り組みを推進する自治体・地域を指します。SDGsの達成に向けて、本市でも持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

ゼロカーボンシティ宣言



令和2年10月8日(木)、2050年までの米沢市の二酸化炭素排出実質ゼロ(※)を目指して、「米沢市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。地球温暖化による自然災害リスクを低減し、持続可能な未来を実現するため、取り組みを推進していきます。

※排出実質ゼロ…二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。

講師 やなかしゅうこ
谷中修吾氏

内閣府「SDGs 未来都市」&
環境省「地域循環共生圏」採択記念

米沢カンファレンス 2021



～上杉鷹山公から継承される米沢のサステナビリティ～

市内団体によるSDGsの事例発表やSDGsに関する講演を行います。

■場所／置賜総合文化センター

■申込方法／電話・FAX・メールのいずれかで担当まで申し込み

▷政策企画課企画調整担当 ☎ 22-5111 FAX 22-0498 ✉ kikaku-t@city.

yonezawa.yamagata.jp (件名：SDGs カンファレンス申込)

※感染状況などによっては、開催内容を変更もしくは中止する場合があります。

9/19

14時～
30分前開場

BBT 大学経営学部グローバル
経営学科 学科長・教授